

関係各位

令和8年10月吉日

北海道土木技術会 コンクリート研究委員会
委員長 井上 真澄

令和8年度 技術発表会 開催について

拝啓 貴下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび北海道土木技術会コンクリート研究委員会では、下記のとおり『技術発表会』を企画いたしましたのでご案内申し上げます。

我が国では、高度経済成長期に建設された構造物が一斉に老朽化の時期を迎え、更新または補修・補強が必要になっています。一方で、持続的社会の構築を実現するため、コンクリート構造物の品質確保や生産性向上も求められています。このような社会情勢に対応し、コンクリート構造物の更なる発展のために、会員企業の研究成果、設計事例、施工事例、開発した工法・製品の技術紹介など、幅広いテーマで裾野を広げた技術発表会を開催いたします。本発表会が有意義な情報交換や活発な討議の場となるよう、皆様の多数のご参加をお待ちしております。

参加希望の方は、北海道土木技術会コンクリート研究委員会のホームページ内の『お知らせ』から申込み入力を行って下さい。

なお、本技術発表会は全国土木施工管理技士会連合会継続学習制度（CPDS）4ユニットとして認定を受けているほか、土木学会継続教育（CPD）プログラムに申請予定です。

敬具

記

主 催：北海道土木技術会 コンクリート研究委員会

日 に ち：令和8年11月12日（木）

場 所：ホテルポールスター札幌 ・技術発表会 13:30～17:30 2F メヌエット
・情報交換会 17:50～19:20 2F セレナード

参加人数：技術発表会 100名 情報交換会 60名

※定員に達し次第締め切ります。

参加費：技術発表会 無料 情報交換会 5,000円

※情報交換会のキャンセルについて

申込み締め切り後のキャンセルの際は、

参加費のご請求をさせていただく場合がございます。何卒ご了承ください。

申込み先：北海道土木技術会 コンクリート研究委員会 ホームページのお知らせ

申込み締め切り：令和8年10月30日（金）

問い合わせ先：北海道土木技術会 コンクリート研究委員会 技術情報小委員会

日本高圧コンクリート(株) PC事業部札幌支社 営業部 田村^{たむら} 葉^{しおり}

TEL：011-241-7108 E-mail：s.tamura@nihonkoatsu.co.jp

※お問い合わせは事務局ではなく上記にご連絡ください。

＜次 第＞

【開会挨拶】 13:30～13:35
北海道土木技術会 コンクリート研究委員会 委員長 井上 真澄^{いのうえ ますみ}

【講 演】 13:35～14:40 (65 分)
題目 『亜硝酸カルシウムによる低温環境下での
高炉スラグ高含有セメントの塩害抵抗性向上』
講師 北見工業大学 社会環境系 教授 崔 希燮^{ちゅう ひそぶ} 様

＜休憩 14:40～14:50 (10 分) ＞

【技術発表】
発表① 14:50～15:05 (15 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『鉄道高架ラーメン橋への充填シミュレーションの適用』
発表者 清水建設(株)
土木技術本部 基盤技術部 コンクリートグループ 宮田 佳和^{みやた よしかず} 様
清水建設・京成建設・高橋組
北海道新幹線 国縫高架橋特定建設工事共同企業体
小出 直剛^{こいで なおたか} 様
本玉 寛典^{ほんたま ひろふみ} 様

発表② 15:05～15:30 (25 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『「錆びない橋 (超高耐久橋梁)」の開発と実用化
ーアラミド FRP ロッドを緊張材に使用した PC 橋ー』
発表者 アルソシア建設(株) 土木事業本部 インフラ事業推進部 内堀 裕之^{うちぼり ひろゆき} 様

発表③ 15:30～15:45 (15 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『箱式橋台における頂版プレキャスト化事例』
発表者 (株)開発工営社 交通事業本部 交通第 2 部 諸田 匡紀^{もろた まさのり} 様

発表④ 15:45～16:00 (15 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『主ケーブルのプレグラウト化による冬季施工対応とシース小径化が
もたらす構造物のスリム化ーアフターボンドマルチケーブルシステムー』
発表者 神鋼鋼線工業(株) 加工品技術部 P C 技術室 野田 一成^{のだ いっせい} 様

＜休憩 16:00～16:10 (10 分) ＞

発表⑤ 16:10～16:30 (20 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『PC 構造物のグラウト再注入工法「PC-Rev 工法」』
発表者 オリエンタル白石(株) 東京支店 技術部 吉川 卓^{よしかわ たく} 様

発表⑥ 16:30～16:50 (20 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『バイオ炭を用いた低炭素型吹付けコンクリートの配合選定と施工性能評価』
発表者 清水建設(株)
土木技術本部 基盤技術部 コンクリートグループ 御領園^{ごりょうぞの} 悠司^{ゆうじ} 様

発表⑦ 16:50～17:10 (20 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『90 年間供用された旭橋シンダーコンクリートの構成材料および
微細組織の調査』
発表者 (株)構研エンジニアリング 橋梁部 河田^{かわた} 義郎^{よしお} 様

発表⑧ 17:10～17:25 (15 分) ※質疑応答 (5 分程度) を含む
題目 『ノージョイント化橋梁の現況について』
発表者 東日本高速道路(株) 北海道支社 構造技術課 石塚^{いしづか} 史也^{ふみや} 様

【閉会挨拶】 17:25～17:30
コンクリート研究委員会 技術情報小委員会 小委員長 清水^{しみず} 憲行^{のりゆき}

※ 発表順や発表時間は、当日変更になる場合があります。